



令和6年11月8日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

No. 320(2024年11月)

■クラウドファンディングプロジェクト「松竹大谷図書館 | 演劇・映画の宝箱、貴重資料を未来へ【第13弾】」成立しました！



今回13回目となるプロジェクトは、当館の使命である「演劇・映画の貴重資料を守り、これからも増え続ける資料を未来につないでいく」ということへの想いを、これまでご支援をいただいた皆さま、そして新たに当館を知っていただく方々へ改めてお伝えし、末永く応援していただくきっかけにしたいという願いを込めて挑戦してまいりました。

たくさんの方にご支援、応援をしていただきましたことは、ありがたい限りでございます。

今回のクラウドファンディングは無事成立しましたが、“演劇・映画資料の宝箱”松竹大谷図書館の活動に、終わりはありません。貴重な演劇・映画資料を未来へ受け継いでいくため、演劇・映画のさらなる発展のため、これからも当館の活動をお見守りくださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



プロジェクトページURL QRコード

目次:

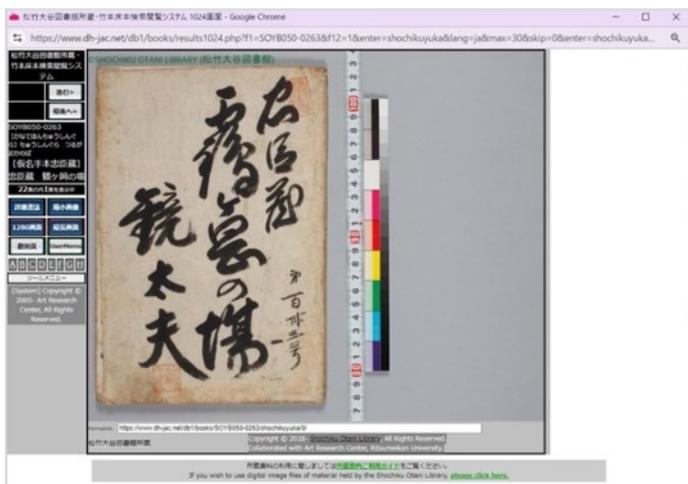
| | | | |
|---|---|------------------------|---|
| クラウドファンディングプロジェクト「松竹大谷図書館 演劇・映画の宝箱、貴重資料を未来へ【第13弾】」成立しました！ | 1 | 新着資料案内 | 4 |
| 《竹本床本検索閲覧システム》Web公開！ | 2 | 新規登録資料案内 | 5 |
| 第103回所蔵資料ミニ展示 & ブックラック資料紹介「ようこそ歌舞伎座へ ようこそ松竹大谷図書館へ！」 | 3 | 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い | 5 |
| 当館デジタルアーカイブを活用した歌舞伎座チラシ | 3 | 松竹大谷図書館へのご来館に関するお願い | 5 |
| 東京新聞で当館をご紹介いただきました！ | 4 | 休館のお知らせ | 5 |
| 新たに資料をご寄贈くださった方々 | 4 | 利用案内 | 6 |

■《竹本床本検索閲覧システム》Web公開！

歌舞伎の舞台上で実際に使用された、竹本の「床本（ゆかほん）」をWeb上で閲覧できるデジタルアーカイブを10月18日に公開しました。

▼松竹大谷図書館所蔵《竹本床本検索閲覧システム》

https://www.dh-jac.net/db1/books/search_shochikuyuka.php



床本とは、歌舞伎の義太夫狂言などで、浄瑠璃を語る竹本の太夫が舞台上で使用する台本のことです。義太夫の詞章や節付けのほか、語り出しのきっかけとなる俳優の台詞や演技、竹本の三味線方の譜や演出などに関する書き込みなど様々な情報が書き込まれています。

松竹大谷図書館では、戦前から戦後にかけて活躍した歌舞伎の竹本の太夫、初世竹本鏡太夫と初世豊竹寿太夫が実際の舞台上で使用した床本について、2015年度から2016年度にかけ、一般社団法人伝統歌舞伎保存会の事業により、デジタル撮影及び書誌データの入力を行いました。

このデータを、立命館大学アート・リサーチセンターの赤間亮先生のご協力のもと、《竹本床本検索閲覧システム》を構築していただき、この度10月18日より松竹大谷図書館HP内のデジタルアーカイブにおいて590件のデータを公開いたしました。（※うち、48件は著作権保護期間が終了していないため画像は非公開です。）

一般社団法人伝統歌舞伎保存会の事業は、伝統歌舞伎保存会の理事である竹本葵太夫様のご発案により、同会の資料収集整理（記録作成と保存）事業においてデジタル化を行ったものです。今回の《竹本床本検索閲覧システム》は、「床本」という特殊な資料を扱うデジタルアーカイブであることから、書誌情報の入力にも工夫を凝らし、実演家の利便性を考慮した「語り出し」や「末尾」の詞章の入力や、愛好家の方が親しみやすいよう、歌舞伎でよく使われる場名や通称などを入力するなど、幅広い層に使って頂けるようなデジタルアーカイブを目指しました。

葵太夫様には書誌データ作成でもさまざまご教示をいただきました。今回の検索閲覧システム公開にあたって、竹本葵太夫様よりコメントを頂戴いたしました。



松竹大谷図書館書庫にて竹本床本を手にする葵太夫氏

●竹本葵太夫さまコメント●

古来「師匠から弟子へその芸や資料が伝承される」というシステムをつくらなかった歌舞伎音楽「竹本」の世界…。後継者不足が窮まった1975年に国立劇場で養成事業が始動しました。「歌舞伎竹本」として重要無形文化財の指定も受け、後継者養成や資料の保存も注目され始めて、実演家のご遺族より松竹大谷図書館様に太夫床本や三味線譜本を寄贈されるようになりました。

このたび館蔵の竹本床本から、大正・昭和期に六世尾上菊五郎丈付きだった竹本鏡太夫師と、昭和期関西劇壇で活躍なさった豊竹寿太夫師のデジタル資料が公開されることになりました。いずれも伝統歌舞伎保存会の事業でデジタル化いたしました一級資料です。

実演家である私どもには、現行演出の根源をたどることができ、現在上演されない演目を復活するときの基礎資料となります。また歌舞伎を研究くださいますお方や愛好皆様にも「昭和の演出」に思いを馳せて閲覧いただくことができると思います。

関係各位のご尽力に深く感謝いたしますとともに、私自身もさらに書誌情報をふくらますお手伝いをしたいと思っております。

竹本葵太夫（重要無形文化財「歌舞伎竹本」太夫）

本事業のデジタル化により床本原物の保存を図るとともに、アーカイブをWeb公開することで、竹本の実演家のニーズに応えることはもちろん、歌舞伎研究や歌舞伎愛好家の皆さま、また今後の歌舞伎義太夫狂言の上演等にも役立つことを祈念しております。この度の《竹本床本検索閲覧システム》のデジタル化及びアーカイブの公開にご協力くださった全ての関係者の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

■第103回所蔵資料ミニ展示&ブックトラック資料紹介 「ようこそ歌舞伎座へ ようこそ松竹大谷図書館へ！」

令和6年11月の閲覧室展示は、十一月歌舞伎座特別公演「ようこそ歌舞伎座へ」にちなみ、「ようこそ歌舞伎座へ ようこそ松竹大谷図書館へ！」と題した展示企画で皆さまのご来館をお待ちしております。

平成25年に新開場し、歌舞伎の殿堂として親しまれている第五期歌舞伎座。今回の展示では、明治22年に開場した第一期歌舞伎座から、平成22年に惜しまれながら閉場した第四期歌舞伎座までの資料や写真をご紹介しますながら、歴代歌舞伎座の変遷をたどります。

またブックトラック展示では、十一月歌舞伎座特別公演「ようこそ歌舞伎座へ」関連資料などを手にとってご覧いただけます。今月の上演演目『三人吉三巴白浪』の台本や、『石橋』のプログラムのほか、歌舞伎関連図書や歌舞伎座の歴史、劇場の写真集など、歌舞伎座のあれこれをご紹介します。

歌舞伎座ご観劇の前後などに、ぜひお立ち寄りください。

なお、11月10日（日）は、「中央区まるごとミュージアム2024」で特別に開館いたします。通常は平日のみの開館となりますので、この機会にぜひご来館ください。

展示期間：2024/11/1-11/27（※11/10は特別開館）
展示場所：松竹大谷図書館 閲覧室

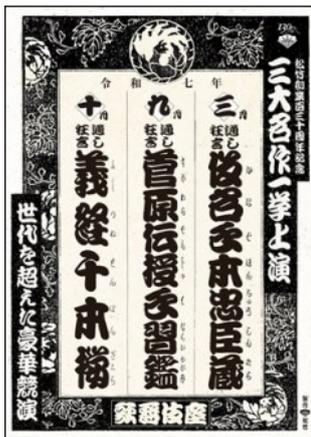


左「歌舞伎座案内」、右「復興十年興行の栞」

■当館デジタルアーカイブを活用した歌舞伎座チラシ

当館デジタルアーカイブを活用した取り組みが広がりをみせています。

松竹創業130周年記念として、来年、令和7(2025)年歌舞伎座で三大名作『仮名手本忠臣蔵』、『菅原伝授手習鑑』、『義経千本桜』が一挙上演されますが、歌舞伎座では定式幕の3色（黒、柿、萌黄）にちなんだ3種類の特別チラシが設置されています。



歌舞伎座特別チラシ



明治24年1月歌舞伎座「絵本役割」表紙

左は、当館のデジタルアーカイブの画像を活用して作成された特別チラシで、[明治24年1月歌舞伎座「絵本役割」の表紙画像](#)をデザインに用いてつくられました。

また、来年1月歌舞伎座公演、松竹創業百三十周年「壽 初春大歌舞伎」の仮チラシでも、当館デジタルアーカイブより、昭和7年1月の初春興行大歌舞伎の筋書表紙画像がデザインに使用されています。

当館のデジタルアーカイブ「[芝居番付検索閲覧システム](#)」は、「[【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ。](#)」のご支援により、約6,000枚の「芝居番付」をデジタルアーカイブ化し、Webで公開したものです。また、「[【第9弾】演劇史を紐解く、歌舞伎座の絵本番付と筋書を後世へ。](#)」のご支援により、歌舞伎座の戦前の筋書と絵本番付（絵本役割）1,182冊をデジタル化し、



令和7年1月歌舞伎座 仮チラシ表面



令和7年1月歌舞伎座 仮チラシ裏面

「[芝居番付検索閲覧システム](#)」にデータを搭載いたしました。全ページご覧いただけますので、ぜひご覧ください！

デジタルアーカイブを活用した取り組みが歌舞伎座のチラシという形となり、皆さまのお手に届きましたことは、うれしい限りです。今後も、さまざまな形で当館所蔵資料が活用されることを願っております。



昭和7年1月歌舞伎座筋書表紙

《松竹大谷図書館ホームページ デジタルアーカイブ》
<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/digital-archive/>

■東京新聞で当館をご紹介いただきました！

10/20（日）の東京新聞朝刊都内版にて、今回の第13弾クラウドファンディングプロジェクトについて、掲載していただきました。

北條秀司スクラップブックについて詳しく取材していただきましたので、ぜひご覧ください！

●東京新聞Web版

「劇作家・北條秀司の足跡 スクラップ帳を次世代へ 進む劣化、所蔵図書館がCF」

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/361373>

新たに資料をご寄贈くださった方々

（敬称略・順不同/2024年9月まで）

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、株式会社日本舞踊社、こまつ座、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、東京都江戸東京博物館、齋藤喬、文学座、銀座 博品館劇場、帝国劇場、榎松大剛、国立劇場、キネマ旬報社、神戸女子大学古典芸能研究センター、シアタークリエ、公益社団法人日本照明家協会、有限会社合同通信社、(株)近代映画社、東宝株式会社ライツ事業部、銀座百店会、おとなのデジタルTVナビ編集部、シナリオ・センター、丸善雄松堂株式会社、若林さだ吉、劇団民藝、協同組合 日本映画撮影監督協会、公益財団法人日本近代文学館、株式会社カモミール社テアトロ編集部、日本映画テレビプロデューサー協会、川崎哲男、国立映画アーカイブ、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、博物館明治村、川下俊文、木ノ下裕一、株式会社オフィスタカヤ、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、有田嘉伸、無声映画鑑賞会、劇団俳優座、世田谷文学館

どうもありがとうございました

新着資料案内

（ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします）

新しく受入れた資料をご案内いたします

| ◆松竹系10月演劇公演資料◆ | | ○ … 受入済み | | | |
|----------------|-----------------------------|----------|------|-------|------|
| 劇場 | 演目 | 台本 | スチール | プログラム | ポスター |
| 歌舞伎座 | 『平家女護島 俊寛』 | ○ | ○ | | |
| | 『音菊曾我彩 稚児姿出世始話』 | ○ | ○ | | |
| | 『権三と助十』 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 『婦系図』 | ○ | ○ | | |
| | 『源氏物語 六条御息所の巻』 | ○ | ○ | | |
| 新橋演舞場 | 『劇走江戸鴉 チャリンコ傾奇組』 | | | ○ | ○ |
| 松竹座 | 『通し狂言 雷神不動北山櫻』 | ○ | | | |
| | 『義経千本桜 鳥居前』 | ○ | | | |
| | 『一條大蔵譚 奥殿』 | ○ | | ○ | ○ |
| | 『十三代目市川團十郎白猿八代目市川新之助襲名披露口上』 | | | | |
| | 『連獅子』 | | | | |
| 南座 | 『太夫さん』 | ○ | | ○ | ○ |
| 御園座 | 『解説 歌舞伎のみかた』 | | | | |
| | 『正札附根元草摺』 | ○ | | ○ | |
| | 『太刀盗人』 | ○ | | | |
| 博多座 | 『ヤマトタケル』 | ○ | | ○ | ○ |

◆他社演劇公演資料（8月-10月）◆（順不同）T Factory『路上7 インパーフェクト・デイズ』雑遊プログラム/劇団アンバサンド『歩かなくても棒に当たる』シアタートップスプログラム/『ガチゲキ!! 復活前年祭』アトリエ春風舎プログラム/JIS企画『コスモス』ザ・スズナリプログラム/『「ごらく亭」の夏休み』角筈区民ホールプログラム/ハイバイ『ワレワレのモロモロ2024 札幌東京編』ザ・スズナリプログラム/ヒトハダ『旅芸人の記録』ザ・スズナリプログラム/MITAKA “Next” Selection 25th かるがも団地『三ノ輪の三姉妹』三鷹市芸術文化センター星のホールプログラム/トム・プロジェクト『かへり花』俳優座劇場プログラム/大森カンパニープロデュース『更地20』ザ・スズナリプログラム/PRAY『天守物語』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/あやめ十八番『雑種 小夜の月』座・高円寺1プログラム/イクウメ『奇ッ怪 小泉八雲から聞いた話』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/劇団チャリT企画『Re:プレイバックpart3』下北沢駅前劇場プログラム/日本劇団協議会『流れる血、あたたかく』space早稲田プログラム/劇団民藝『ミツ

バチとさくら』紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム、台本/劇団俳優座『セチュアンの善人』俳優座劇場プログラム、台本/名取事務所『最後の面会』下北沢小劇場B1プログラム、台本/名取事務所『少年Bが住む家』下北沢小劇場B1プログラム/アイエス・フィールド『音楽朗読劇「手紙」』博品館劇場プログラム/ひとときの舞台『チャーリー』博品館劇場プログラム/『Blue Spark Show』博品館劇場プログラム/ T1project Musical『ココロカケラ』博品館劇場プログラム/『デカログ7-10』新国立劇場小劇場プログラム/『ミュージカル ファンレター』シアタークリエプログラム/NODA・MAP『正三角関係』東京芸術劇場プレイハウスプログラム/『尾上菊見卒寿踊り納めの会』国立文楽劇場プログラム/木ノ下歌舞伎『三人吉三廓初買』東京芸術劇場プレイハウスプログラム/シアターXプロデュース『ぼくは風』シアターXプログラム/OSK日本歌劇団『Precious Stones』OSKレビュールカフェプログラム/OSK日本歌劇団『Maximum』OSKレビュールカフェプログラム/ OSK日本歌劇団『OSK Revue Show in 苦小牧』苦小牧市民会館大ホールプログラム/『第175回文楽公演』国立文楽劇場プログラム、床本/『第34回上方歌舞伎会』国立文楽劇場プログラム/『国立劇場第56回文楽鑑賞教室』新国立劇場小劇場プログラム

◆映画資料◆『がんばっていきまっしょい』プレス、パンフレット
◆映画パンフレット◆（順不同）『若き見知らぬ者たち』『チャチャ』『ジョーカー：フォリ・ア・ドウ』『トラップ』『DOG DAYS 君といつまでも』『ふれる。』『悪魔と夜ふかし』『室井慎次 敗れざる者』『まる』『劇場版ACMA:GAME 最後の鍵』

◆演劇雑誌◆（順不同）『Confetti』2024年November/『DRAMAかながわ』91号、92号/『JATET』No. 94/『SAKURA TIMES』Vol. 48/『the座』122号/『あぜくら』2024年10月号/『つどい』57号/『ほうおう』2024年12月号/『ジョイン』No. 109/『ラ・アルプ』2024年11月号/『演劇博物館報』Vol. 121/『歌舞伎 研究と批評』69号/『喝采』2025年2月/『劇評』第30号、第31号/『大向う』令和6年11月号/『日本照明家協会誌』2024年10月号/『日本舞踊』76巻11月号/『悲劇喜劇』2024年11月号/『文化座』203号

◆映画雑誌◆（順不同）『FLIX』2024年12月号/『NFAJニューズレター』26号/『NFAJプログラム』No. 58/『SCREEN』2024年12月号/『TVガイド』2024年10/11号、10/18号、10/25号、11/1号、11/8号/『おとなのデジタルTVナビ』2024年12月号/『キネマ旬報』2024年11月号、10月号増刊キネマ旬報NEXT Vol. 58/『シナリオ』2024年12月号/『シナリオ教室』2024年11月号/『ドラマ』2024年11月号/『ピクトアップ』2024年12月号/『映画テレビ技術』2024年11月号/『映画芸術』489号/『映画時報』2024年9月号/『映画秘宝』2024年12月号/『日経エンタテインメント!』2024年11月号/『文化通信ジャーナル』2024年11月号

新規登録資料案内 (順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『幕末・明治期の巷談と俗文芸 女盗賊・如来の化身・烈女』『OMS戯曲賞 vol. 30』『昔を今に思うよしもがな 津村賢次戯曲集』『シフト』『ENGEKI : Japanese Theatre in the New Millennium 9』『優秀新人戯曲集 2024』『衛生 リズム&バキューム』『ロレンザッチョ』『続々・歌舞伎日録 二〇一八年から二〇二一年まで』『観劇ノート集成 第六卷 昭和三十五-九年』『観劇ノート集成 第五卷 昭和三十三・四年』『歌舞伎への情熱 田邊コレクション』『役者』関係資料展 アート・アーカイヴ資料展XXV』『恋するお三輪』『歌舞伎の歴史』『歌舞伎評判記集成 第三期 第七巻』『没後130年河竹黙阿弥 江戸から東京へ 早稲

田大学演劇博物館2023年度秋季企画展』『右近 vs 8人 尾上右近アーティスト対談集』『テーマ別作品特集』『画面分析による映画芸術論』『新・映画道楽 ちよい町哀歌』『ロードムービーの想像力 旅と映画、魂の再生』『14歳からの映画ガイド 世界の見え方が変わる100本』『労働映画目録 海外編 (1)1894-1989』『JAPANESE FILM 2024』『映画年鑑 2024』『天皇と接吻 アメリカ占領下の日本映画検閲』『第36回東京国際映画祭公式記録[2023年]』『映画館名簿 2024年版』『神戸と映画 映画館と観客の記憶』

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和6[2024]年10月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》(※2024年7月1日改定)

- 開館時間 10:00~17:00 ※ご予約なしでご利用いただけます
- 閲覧予約サービス
閲覧席及び閲覧資料の事前予約ができますので、ぜひご利用ください。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時~17時)
- 手指消毒用のアルコールをご用意しております。

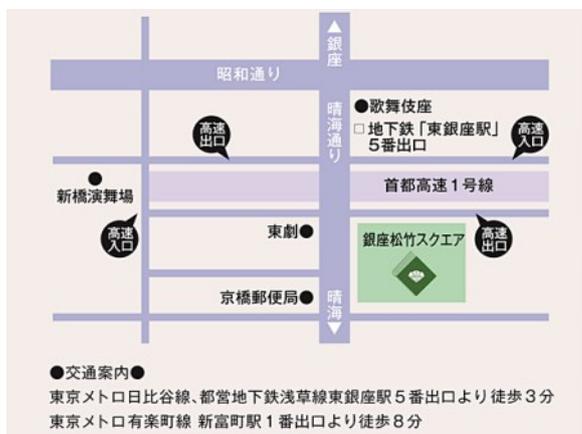
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でご利用いただけます。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索 : <https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら : https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/current_usage_20240701/

休館のお知らせ
令和6年11月22日(金)



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>